

校 歌

作詞 富田碎花

作曲 信時 潔

1 端山繁山むら立ちて
霧が呼ぶなる郷愁は
母の乳房にかたどらむ
みなかみ遠き谷々の
水を集めて合ふところ
むすぶにまかす知の泉
けふぞ挙る

八鹿 八鹿 八鹿高校

2 桑の高木の節立ちて
風雨刻める年輪は
父のおもわになぞらへむ
葉脈しるく陽に映えて
つよく命の息づくを
みどりの風にひるがへし
けふぞ夢む

八鹿 八鹿 八鹿高校

3 朝の花々香に立ちて
おのがじしなる装ひは
開く窓べにかよはさむ
濁世を越えて潔く
学の新風大らかに
空ゆく雲と照り合ひて
けふぞ競ふ

八鹿 八鹿 八鹿高校